南富良野中学校
第6回道北地区中学校かべ新聞コンクール 最優秀賞受賞
第6回全道中学校かべ新聞コンクール 特別賞受賞

昨年11月に上川・留萌・宗谷・網走管内の中学校を対象に北海道新聞社主催「第6回道北地区中学校かべ新聞コンクール」が行われ、16校から手書きの作品35点が応募されました。レイアウトや記事内容などの審査の結果、南富良野中学校が制作した「ひなげし」が3年生の部（1―3年合同作品）で最優秀賞を受賞しました。

自分たちが住んでいる地域の問題を取り上げ、インタビューしたり、その場所を訪れたり、自分の目で耳で確認をして記事を書かれていることが審査員から高く評価されての受賞です。

「ひなげし」を制作した生徒の皆さん

左から、佐々木くん、俵くん、工藤くん、長谷川さん、大友くん、小林さん、新田さん

最優秀賞に選ばれた「ひなげし」は12月に札幌市で行われた「第6回全道中学校壁新聞コンクール」に出品され、全道コンクールでも審査員から高い評価を受け、特別賞を受賞しました。

南富良野中学校では、開校した平成17年から、学校祭のかべ新聞制作が始まり、今年で3年目の取り組みです。

各題材は、地域に関連ある題材を各自で持ち寄り、取材方法や原稿の結論などを全員で検討し決定したとのこと。

作業は、9月初旬から始め、学校祭の前日9月22日まで行われ、実質2週間弱という短期間で完成した作品です。

壁新聞「ひなげし」を制作した7名の生徒と担当の先生に、受賞の感想や制作にあたり苦労した点などについてお話しを伺いました。

長谷川　美保さん（3年）

みんなで作ったかべ新聞が良い評価を受けてとてもうれしかったです。

小林　春花さん（3年）

新聞を作ることの大変さ、人と協力することの大切さを学びました。みんなの協力があってこそ立派なかべ新聞を作ることができると感じました。

工藤　拳男くん（1年）

最初のうちは失敗ばかりで、大変だったけど、点描など、楽しいこともいっぱいできたので、かべ新聞を作ってよかったなと思いました。

大友　星矢くん（1年）

自分で書いたもので賞をいただいたので、よかったです。

新田　澪奈さん（1年）

初めてのかべ新聞で、私が清書したものが道北地区で最優秀賞をいただいたのがすごくうれしかったです。

俵　晋吾くん（2年）

取材や原稿打ちが大変でしたが、完成した時の達成感がすごかったです。

佐々木　太一くん（2年）

僕は編集後記で短い文でしたが、編集後記が終わったあとにやったレタリングが大変でした。次にやるときはもう少し長い記事をやってみたいです。

高　美奈恵先生

ほとんどの生徒がかべ新聞制作は初体験でしたが、質の高い作品を目指して制作を続けた結果、今回の賞をいただくことができ、たいへんよい経験をさせていただいたと思います。

かべ新聞「ひなげし」は、

「その時、農業が動いた スーパーキャロットル 執念の誕生秘話」
「猛暑の夏～南富の農作物は・・」
「守っていく場所 鉄道員ロケ地は今」
「心に響くハーモニー」
「マチの28年を見つめて」
「なんぷ香房～森のパン屋」
「編集後記」

の7つの記事で構成されています。

それぞれの記事を今月号から4回にわたり広報紙で紹介します。また、作品は3月末まで役場内に展示しています。大変すばらしい作品ですので、ぜひ一度ご覧ください。